

令和3年度 学校評価

愛知県立豊橋工科高等学校 定時制課程

- 1 学校評価の年間計画
 - (1) 4月当初に本年度の重点目標を決定する。
 - (2) 本年度の重点目標をもとに、4月中旬までに各分掌で課題別評価シートを作成する。(重点目標及び具体的対策や留意事項を決定する。)
 - (3) 9月に中間評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。(問題の明確化と改善策の検討)
 - (4) 1月に年度末評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。(反省と改善策の検討) 次年度の課題及び目標を決定する。
 - (5) 定期的に学校評価委員会を開催する。(外部評価の内容・方法等の検討)
 - (6) 学期に1回、学校関係者評価委員会を開催し、学校評価の取組状況に対しての意見や校内見学、視察による意見聴取をするなど、積極的に意見を求める。
 - (7) 学校評価の取組結果は、PTEA総会、PTEA委員会・役員会、ホームページ等で公開する。
 - (8) 研究授業等を推進し、分かりやすい授業への取組を推進する。
- 2 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①基礎学力の向上を図り、基礎から応用につながる指導を強化する。②社会人として通用する人間教育に全力であたる。③コミュニケーション能力の向上につながる方策を実践する。		
項目(担当)	重点目標	具体的な方策	留意事項
生徒指導 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人となるための基礎的モラルやマナーの体得 ・礼儀をつけた基本的生活習慣の確立 ・規則遵守と自ら考え、行動できる生徒の育成 ・交通安全意識の涵養 ・いじめのない学校生活の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の取り扱いに関するマナーの徹底をしていく。また、授業・ST等の時間厳守の徹底させる ・規則を理解させ、頭髪服装指導の実施及び集会等での礼法指導を徹底する。 ・正しい行動選択をできるように予防的支援を行う ・交通安全講話を実施し、安全意識の高揚をはかる ・他者との関わり方について、集会等を活用し考える機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホに関して、正しい使い方・TP0に応じた使い方の指導の徹底を図る。また、始業前や授業前の行動を完了できるように遅刻しない意識を身に付けさせる。遅刻が度重なる場合には指導を行う。 ・規則を理解させたうえで、卒業後社会人として自立できるように自ら考え、自ら行動できる姿勢を育てる。さらに集会や授業の開始時・終了時のあいさつを徹底する ・声かけを通して、生徒と信頼関係を築き、出来ないことが出来るように促していく。 ・交通安全指導を通じて、事故を未然に防ぐ。事故時の対応を繰り返し指導し定着させる。 ・トラブルが起こる前に、日頃から他者との関わり方を考えさせ、未然に防ぐ。
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境を整える ・学習意欲を高める ・基礎学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材準備の徹底とそれに対する指導を行う。 ・業前業後の学習会、考査前学習指導期間の活用、居残り指導や個別指導の充実。 ・復習や反復学習、学び直しの時間(機会)を増やす。 ・日本語の理解が低い外国籍生徒に対する支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・筆記用具等準備の徹底。忘れ物等が度重なる場合は指導を行う。 ・生徒の出席状況の把握、教科担当との情報交換、保護者との連携を図る。 ・小中学校の学習内容を理解度を考慮し、個に応じた支援、指導の工夫と粘り強い指導を行う。 ・ポケトークを活用し、日本語の理解が低い外国籍生徒に対して各教科の復習等を業前業後に実施する。
就労及び進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進 ・進路相談支援の推進 ・自立意識と職業観の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関する講話を実施する。 ・進学支援を実施する。 ・進路希望調査を実施し、個々の進路への意識を高める。 ・企業訪問を実施する。 ・地域の支援施設と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響を考慮して進路指導を進める。 ・生徒の特性にあった職種を選択できるように指導し、卒業後の離職率の低下を図る。 ・生徒の就職・進学に関する意識を段階的に高め、資質や基礎学力、就職試験・進学試験の合格率の向上を図る。 ・保健部、支援施設と連携しながら、就業経験のない生徒に対し、スムーズに進路決定ができるよう支援を行なう。
保健指導 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心身の問題を早期に発見し適切な支援をする。 ・身体の健康に対して関心を高めさせる。 ・感染症に対する意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育相談委員会」を開催することによって、生徒情報を共有する。 ・定期健康診断で受診勧告を受けた生徒に対して、個別の保健指導を行う。 ・健康観察、手洗い、手指消毒、マスクの着用などを徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談委員会では、小さな情報でも共有できるよう風通しの良い場にし、生徒の些細な悩みや変化を共有する。 ・受診勧告を放置してしまった場合、どのような疾病に繋がる恐れがあるかを重点に指導する。 ・集会での講話や保健だよりで生徒に正しい知識を伝え、対策を徹底させる。
PTEA活動 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA活動の推進 ・学校教育活動に対する理解を深める ・防災に対する意識の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA総会や役員・委員会を実施し連携を深める。 ・保護者懇談会を実施する ・激甚災害に向け、防災訓練を充実させ、情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA総会等で生徒の活動を周知し、総会以降も、保護者に対して、生徒の活動を伝えられるようにする。 ・地震・火災等の非常時に即した避難方法を訓練として実施し、訓練以外にも災害についての情報を生徒に周知する。
専門教育 (機械科)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全意識を高く持ち、実習を行えるようにする。 ・社会で通用する技術技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業を徹底し、実習態度を改善する。 ・専門教科や実習を通じて機械の扱い方や知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習時の集合や点呼における服装や忘れ物、態度の指導を徹底して行う。 ・5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を実践する。 ・実習を行う前に、機械の扱い方および危険な事例等を生徒に伝え、理解した上で安全に実習を行う。 ・専門教科や実習を行う際に、わかり易い教材や実践的な例を示しながら授業展開を進め、知識と関連性を持たせて生徒の理解を深める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 ・進路指導の充実 		